



(金沢区布川家文書)

江戸期前半に始まった泥亀新田は、元禄16年（1703）の大地震により、田地の大半が陥没、荒廃した。

安永年間（1780頃）に復興、更に面積拡大の工事が開始されたが、その後の洪水で流出、荒廃した。

この文書は再興に関する「お上」への嘆願書である。

念此書付茶頭上

[illegible]

文保三辰年七月

天長門印

御役所

以下略

伊藤公憲に資料盗難の顛末

明治二十年八月廿二日

座敷(現存)建替

祭見場所 右座敷より北接し東屋園中畑

但翌七日朝より見

右被奪者憲法草案中伊藤公憲島より泊泊と

被害者伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

二人より右座敷より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

氏座敷へ賊入り伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

前に座敷より北接し中よりカバン口を開き伊藤公憲氏より

其盗難より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より

伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より伊藤公憲氏より





公忠公義を以て世に示す事

武蔵野の塩田郡金沢区金沢町

正成

金沢村

高村

右の村に於ける塩田は古来より金沢区に属するものなり

法に於ては金沢区に属するものなり

法に於ては金沢区に属するものなり

法に於ては金沢区に属するものなり

法に於ては金沢区に属するものなり

法に於ては金沢区に属するものなり

高村

高村

高村

17

法に於ては金沢区に属するものなり

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村

高村